

教科名	国語	学年	第3学年	教科担当者：橋本 誉嗣
-----	----	----	------	-------------

《学習目標》

国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い、言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め、国語を尊重する態度を育てる。 (1) さまざまな種類の情報の内容を素早く理解し、目的や場面に応じて表現する力をつける。 (2) 様々な手段を用いて情報を得て、自分の考えをまとめ、表現する力を身に付ける。 (3) 広く考えるための題材を得る方法を習得し、応用する力を身に付ける。
--

《年間授業実施計画》

月	単元名・教材名等	学習内容・項目等	学習ポイント・その他
4	学習オリエンテーション	・試験問題の読み取り方等	・授業の受け方、評価の仕方、使用する教材、ルールの確認等
5	○春の歌を味わう 「春に」「立ってくる春」 ○わたしを見つめる 「私」「AIは哲学できるか」	・詩の読み取り方、表現技法 ・文学的文章のものの見方	・文章の構成の理解 ・硬筆展
6	○課題作文を書こう ○硬筆 ○戦争について考える	・条件作文の書き方 ・行書を書き方	・戦争の時代の人々と自身と照らし合わせて考える
7	「薔薇のボタン」 ○ビブリオバトル ○文法～助動詞・助詞～	・相手の興味を引く話し方	・効果的な話し方やわかりやすい紹介の仕方
8			・文法問題演習、今までの復習
9	○近代の俳句 ○旅への思い 「おくのほそ道」	・俳句の約束・俳句鑑賞文の書き方 ・文章の特徴、情景や心情の読み取り方	・文化祭発表に向けて ・冒頭文暗唱
10	○和歌の調べ ～万葉集・古今和歌集・新古今和歌集～	・和歌の技法、歴史的背景	・それぞれの歌集の特徴をつかむ
11	○漢詩・漢文の世界 ○書初め	・漢詩の名句 ・和語・漢語・外来語、熟字訓	・漢詩の暗唱 ・書き初め展に向けて
12	○漢字・熟語の成り立ち ○古典問題演習	・行書の特徴 ・古典の問題の解き方	・入試対策 ・テーマ別問題演習
1	○人生を考える 「故郷」 「高瀬舟」	・時代背景の押さえ方 ・表現の読み取り	・3年間の学習の総まとめ
2	「最後の一句」 ○受験対策をしよう	・入試問題演習 ・構成を考える力	
3	○卒業文集を書こう	・学習記録の提出 ・文章の構成の理解 ・情報の伝え方を比較する	

《評価の観点および具体的な評価方法》

観点1「知識・技能」 観点2「思考・判断・表現」 観点3「主体的に学習に取り組む態度」

評価の観点	具体的な評価方法
観点1	・ 漢字や語句、言葉の知識を増やし、豊かな言語生活を通して、豊かな感性を養う。 評価方法：言語の知識・理解・文法・漢字・書写など
観点2	・ 自分の考えを正しく伝え、相手の考えを正しく受け取る言葉の力をつける。 ・ 必要な情報をもとに自分の考えをまとめて表現することができる。 評価方法：ワークシート、話し合い活動、スピーチ、感想文、読解問題、作文など
観点3	・ 国語に対して興味関心を持ち、進んで学習に取り組んでいる。 評価方法：ワークシート、発言、提出物、活動の様子、読書記録など

《教科の約束事》

- ① 授業では積極的に挙手をし、意欲的に授業に取り組みましょう。
- ② 授業では、チャイムが鳴る前に準備を終えて着席しましょう。
- ③ 他の人にしっかりと伝わる話し方をしましょう。（他の人に届く声で、簡潔に）
- ④ 他の人の発言はしっかり聞きましょう。（誰かが話をしようとしたら注意して聞く。）
- ⑤ 授業プリントワーク、ノート等の提出物は決められた日に提出しましょう。

【持ち物】

・教科書 ・ファイル ・国語便覧 ・漢字ワーク ・国語ワーク ・文法ワーク

《指示があったときに持ってくるもの》

・タブレット ・硬筆セット ・書き初めセット ・書写の教科書等

※教科担当の指示をよく聞いてください。